

地域のニーズにマッチした医療人材育成システムの開発

○森本 達也¹, 刀坂 泰史¹, 宮崎 靖則¹, 井上 和幸¹, 辻 大樹¹, 谷澤 康玄¹, 砂川 陽一¹, 柏倉 康治², 鈴木 美希¹, 黒羽子 孝太¹, 野口 博司¹, 賀川 義之¹, 新井 英一², 式守 晴子³, 富安 眞理³, 谷口 通英³, 東野 定律⁴, 比留間 洋一⁵, 森野 智子⁶, 合田 敏尚² (1静岡県大薬, 2静岡県大食, 3静岡県大看, 4静岡県大経情, 5静岡県大国際, 6静岡県大短大)

【目的】東日本大震災により、東北地方は甚大な被害を受けたが、静岡県も南海トラフ地震が想定され、対策が急務である。この問題を解決するために、静岡県の医療現場で役立つ医療従事者の育成が必要である。特に、震災時だけでなく、救急の現場では多職種が連携することにより対応することは極めて重要である。また、静岡県は薬剤師、医師、看護師などの医療専門職が不足しており、高度な専門知識を習得できる教育プログラムとともに、その知識を総合して、他職種とともに地域社会の課題を解決する実践的な知識と技術を習得できる教育プログラムを創出することが期待されている。そこで本研究の目的は、地域住民の健康と安全確保に役立つリーダーシップを持った医療専門職を養成する教育システムを構築することである。【方法と結果】①静岡県内の健康長寿への取り組みとそれを支える専門職やボランティアを知り、地域の健康づくりについて学ぶ、「静岡の健康長寿を支える仕組みと人々」を開講した。②静岡県内の防災と医療を推進する組織とその活動について学ぶ、「静岡の防災と医療」を開講した。③さらに、他職種理解のためのグループ学習、さらにはコミュニケーション演習を行うため「多職種連携演習」ならびに「防災演習」を多学部間共通で開講した。④心電図計を装着し、異常心電図、特に救命が必要な心電図を読影し、対応する能力を熟成する講義と実習を行った。⑤地域包括ケアにおける救命に対応できる人材育成システムとして、一次救命処置教育訓練プログラム(AHA-BLSヘルスケアプロバイダコース)を開講し、認定資格修得者を育成した。【考察】静岡県立大学では、地域のニーズにあった医療従事者育成の教育プログラムを構築し、地域の健康と安全に貢献できる人材を輩出することが可能となった。